

1.17はわすれない

題材のねらい

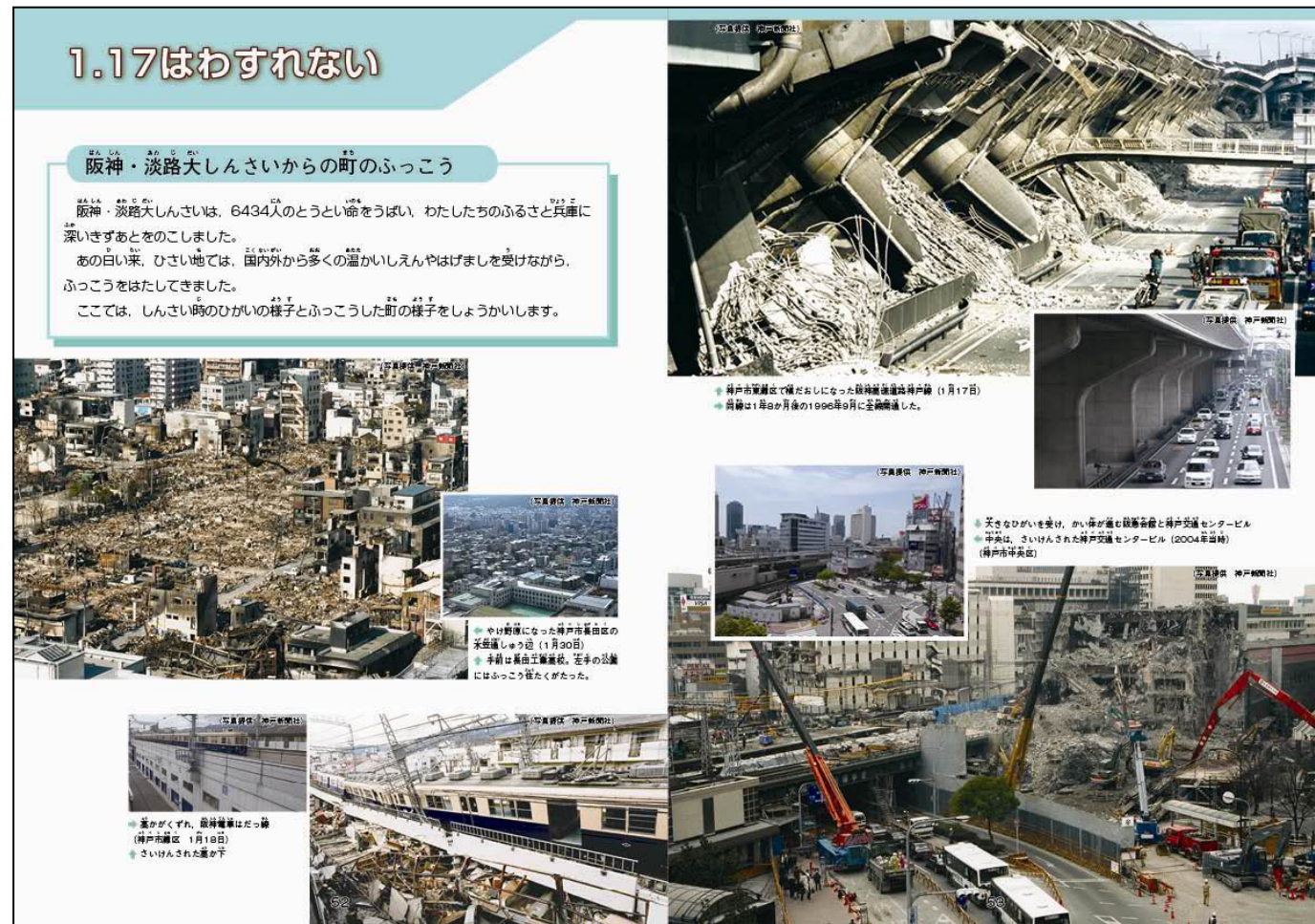
阪神・淡路大震災からの復旧・復興の様子や今後の災害に備えるなどのさまざまな取組について知らせる。

大震災を忘れないために様々な取り組みがあることを知り自分たちができることを考えさせる。

大震災から得た教訓を語り継ぐ大切さに気付き、これからの生活に生かす態度を育てる。

活用にあたって

- 防災訓練の事前・事後指導として活用
- 他の教材の補助資料として活用



★ きれいになった町並みからでは気がつかないので「震災前」「震災後」「復旧中」「今」などの同じ場所の写真や資料があるとよい。

※ 阪神・淡路大震災の災害ボランティア活動がきっかけになり、様々な民間ボランティア団体が活動しやすくなった。「特定非営利活動促進法」ができた。

内閣府 NPO ホームページ <https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo.html>

1.17はわすれない

学校で行われているぼうさいくん練

丹波市立船城小学校
● 地しんを想定してひなんくん練を行いました。（2011年1月28日）

南あわじ市立福良小学校
● 南海地しんのつぶを想定して地いさの保育所と合同でひなんくん練を行いました。（2011年9月15日）

宝塚市立中山桜台小学校
● 地いさの人といっしょにたき出しを行いました。（2012年1月20日）

兵庫からの発しん

しんさい・学校しんチーム（EARTH）

阪神・淡路大しんさいのときは、多くの先生方が学校にひなんしてきた人たちの生活をささえました。ひがいを受けた子どもたちをささえたのも先生でした。そのけいけんは、阪神・淡路大しんさいの後に起こったさいがいのときに役に立っています。

子どもたちへのぼうさい学習
● 2011年1月22日 福良町立福良小学校
● 高城町立高城小学校
● 2011年8月7日～9日 高城町立高城小学校
● トルコ共和国でのぼうさい学習（2012年2月8日～9日 トルコ共和国内の学校）

人と防災未来センター

阪神・淡路大しんさいのけいけんを語りつぎ、「被災社会のつげん」「命の大切さ」「ともに生きることのすばらしさ」を世界へ発しんしています。

北淡震災記念公園

地しんであらわれた野島断層を、ありのままにほぞん・てんじし、いろいろな角度からだんそうをわかりやすくかいせつしています。

兵庫県で行われている追とう行事

西宮市立高木小学校

毎年、そつ業生のきふでせつされた「ふっこうのかね」を鳴らして、なくなったじまのめい福を全校生でのります。しんさいをわすれず、追とうとをつたえつづけています。

東遊園地（神戸市中央区）での追とう行事

多くのひがいをもたらした阪神・淡路大しんさい。ぎせい福のめい福をいのり、またふっこうへと悪いを断たにするための追とう行事が行われています。

- A** 2011年3月11日以降、避難訓練に変化があったことに気づかせる。自分たちの学校の避難訓練についても触れ、自分たちの命は自分たちで守るということを再認識させる。
- B** 自分たちの地域の慰霊碑や祈念碑がないか調べ、そこに込められた願いを考えさせる。
- C** 兵庫県から何を発信しようとしているのか考えさせる。